

## 今後の食育の推進について(案)

平成32年度(2020年度)に計画の終期を迎える「第3次広島市食育推進計画」の推進を、次のとおり進めていくこととする。

## 1 食育推進会議等のスケジュール

	平成31年度(2019年度)												平成32年度 (2020年度)	平成33年度 (2021年度)				
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3						
委員改選	市民委員公募		団体委員推薦		新委員就任(7期)(任期:平成33(2021)年8月まで)													
食育推進会議	第1回(改選後初会合)										第2回		第3次計画評価 第4次計画策定					
食育に関する調査	内容検討												調査実施・集計					
計画の推進	フードフェスティバル		成人祭		様々な食育推進の担い手による第3次広島市食育推進計画の推進												第4次計画の推進	

## 2 平成31年度 本市(行政及び学校・幼稚園・保育園等)が関わる食育推進プログラム予算

## (1) 当初予算額

当初予算額(千円)	食育推進プログラム件数
17,954	63件

## (2) 重点プログラムごとの予算額(再掲を含む)

● 「わ食(和食・輪食・環食)」の推進に向けた重点プログラム				
重点プログラム名		概要	当初予算額(千円)	プログラム件数(延)
1	わ食の日事業	毎月19日(食育の日)の「わ食の日」の啓発を行うとともに、3つのわ食(「和食」「輪食」「環食」)の実践につながる様々な取組を実施する。	5,426	23
2	カミング <sup>サンマル</sup> 30運動の推進	「ひとくち30回以上かむこと」を目標に、「よくかんで味わって食べることの大切さ」を周知するとともに、ライフステージに応じた「食べ方」への支援を行う。	6,859	13
3	つながり・つながる地産地消推進事業	県や広島広域都市圏内の地場産物を活用した給食献立の実施促進に向けて、市場や関係機関との連携強化などの取組を行う。また、各種イベントの活用、生産者と消費者の交流など、地産地消の一層の推進に向けて様々な取組を行う。	4,227	17
4	食と農と水産の体験活動推進事業	農林水産業の体験活動の機会の提供に努めるとともに、開催情報等を、性別・年齢別のニーズを踏まえながら、市民にわかりやすく情報提供する。	3,012	15
● 生涯にわたる間断ない食育の推進に向けた重点プログラム				
重点プログラム名		概要	当初予算額(千円)	プログラム件数(延)
5	男性のための食育推進事業	男性への食育推進に向け、体験活動を中心に男性の興味・関心、ニーズに沿った内容の取組を実施する。	1,051	4
6	若者世代のための食育啓発事業	20～30歳代を中心とする若者に対し、望ましい食習慣の形成や食に関する自己管理能力の育成を図るための具体的な取組を検討し、順次実施する。また、朝食の大切さを啓発する。	930	10
7	食を通じてみんなで育てようひろしまっ子事業	学校・幼稚園・保育園・家庭・地域社会等が連携し、幼児期から学童期にわたる子どもの発達段階に応じた取組を継続的に行う。	2,435	30
● 官民一体となった効果的な食育の推進に向けた重点プログラム				
重点プログラム名		概要	当初予算額(千円)	プログラム件数(延)
8	ひろしま食育ネットワーク事業	ひろしま食育ネットワークの更なる拡大を図るとともに、参加企業・団体等各々の特性を生かした主体的な取組の促進と、相互連携の強化を図る。	979	5
合計当初予算額(延・千円)・合計プログラム件数(延)			24,919	117

### (3) 平成31年度 本市(行政及び学校・幼稚園・保育園等)が関わる食育推進プログラム一覧

本市が関わって実施する食育推進プログラムを、特に関連の深い「重点プログラム」ごとに整理

#### ● わ食(和食・輪食・環食)の推進に向けた重点プログラム

1 わ食の日事業【23件】		
食育推進プログラム	実施主体	主な内容
1 元気じゃけんひろしま21推進事業(糖尿病予防戦略事業等)	保健センター	○保健センターや公民館等において、健康づくりの3要素である栄養・食生活、運動、休養をテーマに各種の健康づくり教室を開催する。
2 保健センター等における健康情報の提供(食生活改善普及活動)	保健センター	○健康まつりや区民まつり、保健センターの健康情報コーナー等において、食に関するパネル展示やリーフレットの配布等により食生活改善に関する普及啓発活動を行う。
3 食生活改善に関する人材育成の充実(食生活改善普及活動)	保健センター	○すこやか食生活推進リーダーや食生活改善推進員の継続的な育成を行い、保健センターが行う健康教室や栄養教室等において、正しい食生活の知識や広島県の郷土料理や食文化等の普及をすすめる人材として活用する。
4 保健センターにおける栄養相談の実施	保健センター	○各区の保健センター等において、栄養士による月1回予約制の栄養相談日を設け、個別相談を実施。また、随時電話等による食生活全般についての栄養相談に対応する。
5 男性のための食育推進事業	保健センター	○男性への食育推進に向け、体験活動を中心に男性の興味・関心、ニーズに沿った内容の取組を実施する。
6 安全でおいしい保育園給食の充実	保育園	○保育園給食の献立作成にあたっては、季節感や地域性を考慮し、品質がよく、幅広い種類の食材を取り入れる。 ○19日(食育の日)の給食を「ごはん・魚料理・汁物」の献立にし、「食育の日」と「日本型食生活」について意識づけを図る。 ○おやつにいきりこを提供し、「かむこと」の意識づけを図る。 ○広島県内産の野菜・魚などを可能な範囲で取り入れ、保育園に食の情報を提供する。 ○除去食対応を中心に、食物アレルギー対応を行う。 ○保育園の給食食器等は、子どもの発達や安全性をふまえ、各保育園の実情にあったものを使用する。(強化磁器や合成樹脂製食器)
7 食品ロス削減キャンペーン「スマイル!ひろしま」	広島市ごみ減量・リサイクル実行委員会	○市民、事業者、行政が一体となって食品ロス削減キャンペーンの実施を実施する。 ・食品ロスの削減の取組を推進する飲食店や小売店を協力店として登録し、市民にPRする。 ・エコクッキング教室や生ごみリサイクル講習会等を実施する。 ・環境イベント等への出展に合わせてフードドライブを実施する。 ・大学等と連携し、学生等考案の新たなエコクッキングレシピを作成する。 ・市民を対象とした食品ロス削減イベントを実施する。
8 専門学校等への出前講座	保健センター	○中区内の専門学校等に所属する学生を対象として、栄養・食生活改善を普及啓発する。
9 親子で実践する健康づくり教室	保健センター	○主に、子育て世代に対し、食事と運動などの生活習慣の改善を図り、家族ぐるみの健康づくりを推進する。
10 東区役所元気じゃけん食堂事業	保健センター	○区役所職員食堂を「健康づくりを発信するスポット」として、健康定食の提供支援や健康に関する情報の掲示、健康相談・測定会などを実施する。
11 東区地域連携協力に係る大学との健康づくりの推進	保健センター・大学	○東区内の大学における大学祭等で栄養・食生活改善を普及啓発する。
12 高齢者のふれあい食生活支援事業	行政、大学、地域団体、食品関連事業者等	○食生活の自立支援(料理教室の開催、メニュー集の普及)、おいしく食べる環境づくり(調理などを通じて交流を行う場づくり等)に関する取り組みを高齢者の食に関わる関係者が協働して実施する。
13 小学生料理教室	保健センター・小学校・公民館	○小学生の食事と地域への興味及び食事を通じた親子のふれあいを促すため、小学生とその保護者を対象に、郷土料理や地域の食材を用いた料理の実習を行う。
14 食育紙芝居による情報発信	保健センター	○保健センターが実施する健康教室や各種サロンなどで、安芸区食生活改善推進員が作成した食育紙芝居を実演し、栄養・食生活改善を普及啓発する。
15 佐伯区地域連携協力に係る大学との健康づくりの推進	保健センター・大学	○佐伯区内の大学における大学祭等で栄養・食生活改善を普及啓発する。
16 「生きた教材」である学校給食と給食指導の充実	学校	○「食育の日(わ食の日)」に和食の献立の給食を実施する。 ○栄養バランスや、食文化の伝承、国際理解、地場産物・旬の食材の活用を考慮した学校給食を実施する。 ○噛みごたえのある食材を使った献立を実施する。 ○給食指導資料を作成し、各校で活用する。
17 ノー電子メディアデーの推進	行政	○各家庭において電子メディアとの関わり方について考え、改善を図るための契機とするため、市内の保育園・幼稚園に通う子どもがいる家族を対象に実施する。
18 学校・家庭・地域が連携した食育の充実	学校	○家庭・地域と連携を図るため、食育だより・ホームページ等で情報提供を行う。 ○児童生徒の食生活状況(朝食等)を把握し、指導に活用する。 ○地域人材・関係機関等による食育授業を実施する。
19 幼稚園における料理教室や行事食体験の開催	幼稚園	○幼稚園において調理体験や食に関わる行事等を実施する。
20 幼稚園におけるお弁当の時間を活用した食べ方の指導	幼稚園	○お弁当の時間に、食前の手洗いや食事のあいさつ、箸の持ち方などについて指導する。
21 「早寝早起き 元気なあいさつ 朝ごはん運動」の推進	学校	○家庭・地域との連携を推進し、幼児児童生徒の生活リズムの定着を図る。 ○基本的な生活習慣の定着に関するアンケートを実施する。 ○全校一斉生活リズムカレンダー実施週間を実施する。 ○基本的な生活習慣の定着に関するリーフレットを配布する。
22 「わ食の日(和食・輪食・環食)」の啓発	食育推進会議事務局	○毎月19日(食育の日)の「わ食の日」の啓発とともに、本市が独自に推進する3つの「わ食(和食・輪食・環食)」の実践に繋がる様々な取組を実施する。 ○朝食内容の充実を図るため、ひろしま食育ネットワーク団体と連携し、和食朝食を進める取組を展開する。
23 ひろしま食育ネットワーク連携事業	食育推進会議事務局	○ひろしま食育ネットワーク参加団体が、互いの連携を強化し、食育に関する取組をより効果的・効率的に実施するための取組を行う。 ○県や広島広域都市圏内市町との情報を共有し、各種啓発活動を積極的に推進する。

2 噛ミング30運動の推進【13件】		
食育推進プログラム	実施主体	主な内容
1 保健センターにおける歯科相談・歯科保健教室の実施	保健センター	○各区の保健センター等において、歯科医師・歯科衛生士による歯科相談日及び歯科保健教室を開催し、歯科疾患の予防と咀嚼の重要性に関する普及啓発を行う。
2 介護予防活動等普及啓発事業（口腔機能維持向上教室）	地域包括支援センター	○65歳以上の高齢者を対象に、嚥下や咀嚼等の口腔機能の維持向上のための教室を開催する。
3 噛ミング30運動への取組	保健センター	○乳幼児健診や育児教室等の歯科保健事業の中で、リーフレットの配布等により、よく噛んで食べることの大切さについて啓発する。
4 保健センターによる子どもの食に関する情報提供、普及啓発	保健センター	○各保健センターにおいて、乳幼児健診を活用して、食に関する情報提供（パンフレット・待ち合い場所でのパネル展示）や個別相談を行う。 ○区の健康まつり等のイベント時に、栄養相談やパネル展示などを行う。
5 安全でおいしい保育園給食の充実	保育園	○保育園給食の献立作成にあたっては、季節感や地域性を考慮し、品質がよく、幅広い種類の食材を取入れる。 ○19日（食育の日）の給食を「ごはん・魚料理・汁物」の献立にし、「食育の日」と「日本型食生活」について意識づけを図る。 ○おやつにいりこを提供し、「かむこと」の意識づけを図る。 ○広島県内産の野菜・魚などを可能な範囲で取り入れ、保育園に食の情報を提供する。 ○除去食対応を中心に、食物アレルギー対応を行う。 ○保育園の給食食器等は、子どもの発達や安全性をふまえ、各保育園の実情にあったものを使用する。（強化磁器や合成樹脂製食器）
6 「食育通信～保育園から食のメッセージ～」の配信	保育園	○保育指導課が提供した食育通信を参考に、各保育園で給食だよりを作成し、家庭に配布する。（保育園給食、園で実施した食育の内容と子どもの反応等）
7 親子で実践する健康づくり教室（再掲）	保健センター	○主に、子育て世代に対し、食事と運動などの生活習慣の改善を図り、家族ぐるみの健康づくりを推進する。
8 高齢者のふれあい食生活支援事業（再掲）	行政、大学、地域団体、食品関連事業者等	○食生活の自立支援（料理教室の開催、メニュー集の普及）、おいしく食べる環境づくり（調理などを通じて交流を行う場づくり等）に関する取り組みを高齢者の食に関わる関係者が協働して実施する。
9 「生きた教材」である学校給食と給食指導の充実（再掲）	学校	○「食育の日（わ食の日）」に和食の献立の給食を実施する。 ○栄養バランスや、食文化の伝承、国際理解、地場産物・旬の食材の活用を考慮した学校給食を実施する。 ○噛みごたえのある食材を使った献立を実施する。 ○給食指導資料を作成し、各校で活用する。
10 幼稚園におけるお弁当の時間を活用した食べ方の指導（再掲）	幼稚園	○お弁当の時間に、食前の手洗いや食事のあいさつ、箸の持ち方などについて指導する。
11 「早寝早起き 元気なあいさつ 朝ごはん運動」の推進（再掲）	学校	○家庭・地域との連携を推進し、幼児児童生徒の生活リズムの定着を図る。 ○基本的な生活習慣の定着に関するアンケートを実施する。 ○全校一斉生活リズムカレンダー実施週間を実施する。 ○基本的な生活習慣の定着に関するリーフレットを配布する。
12 「わ食の日（和食・輪食・環食）」の啓発（再掲）	食育推進会議事務局	○毎月19日（食育の日）の「わ食の日」の啓発とともに、本市が独自に推進する3つの「わ食（和食・輪食・環食）」の実践に繋がる様々な取組を実施する。 ○朝食内容の充実を図るため、ひろしま食育ネットワーク団体と連携し、和食朝食を進める取組を展開する。
13 ひろしま食育ネットワーク連携事業（再掲）	食育推進会議事務局	○ひろしま食育ネットワーク参加団体が、互いの連携を強化し、食育に関する取組をより効果的・効率的に実施するための取組を行う。 ○県や広島広域都市圏内市町との情報を共有し、各種啓発活動を積極的に推進する。

3 つなぐ・つながる地産地消推進事業【17件】		
食育推進プログラム	実施主体	主な内容
1 郷土資料館における行事食の調理体験・展示	行政	○行事食等の作り方体験 石臼を使った月見団子作りやもちつき、一銭洋食作りなど行事食・郷土料理の調理体験の機会を提供する。 ○カキ船料理の紹介 江戸時代のカキ船料理を再現し展示する。
2 保健センター等における健康情報の提供（食生活改善普及活動）（再掲）	保健センター	○健康まつりや区民まつり、保健センターの健康情報コーナー等において、食に関するパネル展示やリーフレットの配布等により食生活改善に関する普及啓発活動を行う。
3 安全でおいしい保育園給食の充実（再掲）	保育園	○保育園給食の献立作成にあたっては、季節感や地域性を考慮し、品質がよく、幅広い種類の食材を取入れる。 ○19日（食育の日）の給食を「ごはん・魚料理・汁物」の献立にし、「食育の日」と「日本型食生活」について意識づけを図る。 ○おやつにいりこを提供し、「かむこと」の意識づけを図る。 ○広島県内産の野菜・魚などを可能な範囲で取り入れ、保育園に食の情報を提供する。 ○除去食対応を中心に、食物アレルギー対応を行う。 ○保育園の給食食器等は、子どもの発達や安全性をふまえ、各保育園の実情にあったものを使用する。（強化磁器や合成樹脂製食器）
4 保育園における食文化体験	保育園	○地域の人のともちつき、地域でとれたもので切干大根や干し柿を作ったり、一緒に食事をするを通して地域の食文化にふれる取組を行う。
5 地元産魚介類の販売促進事業	漁業者	○地元水産物の消費拡大を図るため、漁業者（広島市漁業振興協議会、各漁業協同組合）が実施する水産まつりや朝市等における魚介類の販売促進事業を支援する。
6 広島生鮮三品連絡協議会事業（“ひろしまそだち”クッキング教室の開催）	広島生鮮三品連絡協議会及び（公財）広島市文化財団	○生鮮三品（青果、食肉、鮮魚）の調理方法の紹介等を行うことにより、その消費拡大を図ることを目的とし、公民館等で親子等を対象とした料理教室を実施する。
7 とれとれ広島地魚の店の認定	行政	○地元魚介類の消費拡大を図るため、新鮮で美味しい広島地魚を積極的に使用する飲食店を「とれとれ広島地魚の店」として認定し、4市1町で構成する広島湾北部海域連絡協議会のホームページにより紹介する。

8	広島湾七大海の幸PR事業	行政	○広島湾で獲れる代表的な魚介類7種(メバル、コイワシ、オニオコゼ、アサリ、クロダイ、カキ、アナゴ)をまとめて「広島湾七大海の幸」としてブランド化し、豊かな里海で育った魅力ある食材として多くの市民にPRすることで、これらの消費拡大を図り、広島湾周辺地域の経済を活性化させる。
9	食農コーディネーター活動支援	行政	○食農体験事業や産地交流会などのイベントの企画、運営を行う食農コーディネーターの活動支援をする。
10	もてなしのまちづくり事業 木曜であい市・食農体験	行政	○生産地において農作物の栽培から収穫、食体験を実施する「食農体験」を実施し、産地地消及び生産者と消費者の交流の促進等を図る。
11	小学生料理教室 (再掲)	保健センター・小学校・公民館	○小学生の食事と地域への興味及び食事を通じた親子のふれあいを促すため、小学生とその保護者を対象に、郷土料理や地域の食材を用いた料理の実習を行う。
12	食育紙芝居による情報発信 (再掲)	保健センター	○保健センターが実施する健康教室や各種サロンなどで、安芸区食生活改善推進員が作成した食育紙芝居を実演し、栄養・食生活改善を普及啓発する。
13	農作物の栽培から収穫、加工までの一連の体験	行政	○田植え・稲刈り・さつまいもの植え付けや収穫の体験を行う。 ○そばの種まきから収穫、加工、そば打ちを体験を行う。 ○加工食品や調理を体験する。
14	「生きた教材」である学校給食と給食指導の充実 (再掲)	学校	○「食育の日(わ食の日)」に和食の献立の給食を実施する。 ○栄養バランスや、食文化の伝承、国際理解、地場産物・旬の食材の活用を考慮した学校給食を実施する。 ○嗜みごたえのある食材を使った献立を実施する。 ○給食指導資料を作成し、各校で活用する。
15	幼稚園における料理教室や行事食体験の開催 (再掲)	幼稚園	○幼稚園において調理体験や食に関わる行事等を実施する。
16	「わ食の日(和食・輪食・環食)」の啓発 (再掲)	食育推進会議事務局	○毎月19日(食育の日)の「わ食の日」の啓発とともに、本市が独自に推進する3つの「わ食(和食・輪食・環食)」の実践に繋がる様々な取組を実施する。 ○朝食内容の充実を図るため、ひろしま食育ネットワーク団体と連携し、和食朝食を進める取組を展開する。
17	ひろしま食育ネットワーク連携事業 (再掲)	食育推進会議事務局	○ひろしま食育ネットワーク参加団体が、互いの連携を強化し、食育に関する取組をより効果的・効率的に実施するための取組を行う。 ○県や広島広域都市圏内市町との情報を共有し、各種啓発活動を積極的に推進する。

4 食と農と水産の体験活動推進事業【15件】			
食育推進プログラム		実施主体	主な内容
1	夏休み親子体験教室「お肉について考えよう」	行政	○お肉についての講義 ○食肉市場せり会見学 ○DVD上映「ブタさん、いのちをありがとう」 ○体験実習(動物の血液や内臓の観察、手洗い実験など)
2	保育園における栽培体験	保育園	○各保育園において、食育年間計画を作成し、野菜等の栽培から収穫、調理、喫食までの一連の体験を3歳以上児を中心に実施する。(夏野菜の苗植え、水やり、草むしり、収穫等)
3	保育園における食体験の充実	保育園	○給食に興味を持って自分で食べようとする気持ちを育てるため、給食の食材等を見たり、触れたりする体験や皮むき、すじとり等を行う。 ○おやつクラッカーにジャムをぬったり、カレーの盛り付けを自分で行う。 ○各年齢別に年間指導計画をたて、年齢に合わせて給食時間に食事マナーを教える。
4	広島生鮮三品連絡協議会事業 ("ひろしまそだち"クッキング教室の開催) (再掲)	広島生鮮三品連絡協議会及び(公財)広島市文化財団	○生鮮三品(青果、食肉、鮮魚)の調理方法の紹介等を行うことにより、その消費拡大を図ることを目的とし、公民館等で親子等を対象とした料理教室を実施する。
5	海辺の教室事業	行政	○水産業に対する理解を深め、魚と漁業に関する知識の普及啓発を図るため、小学校3～6年生とその保護者を対象に、水生生物の観察やカキ養殖などについて学習する「海辺の教室」を毎月1回(11月を除く。)開催する。
6	海と漁業の体験スクール	行政	○水産業に対する理解を深め、魚と漁業に関する知識の普及啓発を図るため、市内の小中学生を対象とした種苗の放流体験や市内の小中学校・子供会等の団体を対象とした干潟の生物観察、カキ打ち体験などを実施する。
7	食農推進事業	行政	○栽培から食べることまでの一貫した食農体験などを行うことにより、市民の「食」と「農」への理解を深め、産地地消の推進を図る。
8	市民農園・市民菜園の推進	行政	○菜園開園者へ開園整備に係る経費を補助する。 ○市民への積極的なPRや入園者に対する栽培講習会の開催などを行い、菜園等の利用を促進し、自給自足型市民を拡大する。
9	「ひろしまそだち」産地地消推進事業	行政	○フードフェスティバルや農業祭、料理教室等のイベント、ホームページ等を活用し、広島近郊6大産物野菜などの「ひろしまそだち」産品をPRする。 ○生産者と消費者との交流を進め、安全・安心の確保を図るとともに、産地地消の普及・啓発を図る。
10	農業体験学習の支援	行政	○農業体験を希望する小学校に対し、稲作・野菜等の栽培指導の支援をする。
11	もてなしのまちづくり事業 木曜であい市・食農体験 (再掲)	行政	○生産地において農作物の栽培から収穫、食体験を実施する「食農体験」を実施し、産地地消及び生産者と消費者の交流の促進等を図る。
12	農作物の栽培から収穫、加工までの一連の体験 (再掲)	行政	○田植え・稲刈り・さつまいもの植え付けや収穫の体験を行う。 ○そばの種まきから収穫、加工、そば打ちを体験を行う。 ○加工食品や調理を体験する。
13	農業委員による農業体験指導	行政	○幼稚園、保育園、小学校、区役所、民間等で、農業委員が、芋ほりや野菜、麦、稲作栽培などの農業体験学習を支援する。
14	「わ食の日(和食・輪食・環食)」の啓発 (再掲)	食育推進会議事務局	○毎月19日(食育の日)の「わ食の日」の啓発とともに、本市が独自に推進する3つの「わ食(和食・輪食・環食)」の実践に繋がる様々な取組を実施する。 ○朝食内容の充実を図るため、ひろしま食育ネットワーク団体と連携し、和食朝食を進める取組を展開する。
15	ひろしま食育ネットワーク連携事業 (再掲)	食育推進会議事務局	○ひろしま食育ネットワーク参加団体が、互いの連携を強化し、食育に関する取組をより効果的・効率的に実施するための取組を行う。 ○県や広島広域都市圏内市町との情報を共有し、各種啓発活動を積極的に推進する。

● 生涯にわたる間断ない食育の推進に向けた重点プログラム

5 男性のための食育推進事業【4件】		
食育推進プログラム	実施主体	主な内容
1 男性のための食育推進事業 (再掲)	保健センター	○男性への食育推進に向け、体験活動を中心に男性の興味・関心、ニーズに沿った内容の取組を実施する。
2 高齢者のふれあい食生活支援事業 (再掲)	行政、大学、地域団体、食品関連事業者等	○食生活の自立支援(料理教室の開催、メニュー集の普及)、おいしく食べる環境づくり(調理などを通じて交流を行う場づくり等)に関する取り組みを高齢者の食に関わる関係者が協働して実施する。
3 「わ食の日(和食・輪食・環食)」の啓発 (再掲)	食育推進会議事務局	○毎月19日(食育の日)の「わ食の日」の啓発とともに、本市が独自に推進する3つの「わ食(和食・輪食・環食)」の実践に繋がる様々な取組を実施する。 ○朝食内容の充実を図るため、ひろしま食育ネットワーク団体と連携し、和食朝食を進める取組を展開する。
4 ひろしま食育ネットワーク連携事業 (再掲)	食育推進会議事務局	○ひろしま食育ネットワーク参加団体が、互いの連携を強化し、食育に関する取組をより効果的・効率的に実施するための取組を行う。 ○県や広島広域都市圏内市町との情報を共有し、各種啓発活動を積極的に推進する。

6 若者世代のための食育啓発事業【10件】		
食育推進プログラム	実施主体	主な内容
1 専門学校等への出前講座 (再掲)	保健センター	○中区内の専門学校等に所属する学生を対象として、栄養・食生活改善を普及啓発する。
2 親子で実践する健康づくり教室 (再掲)	保健センター	○主に、子育て世代に対し、食事と運動などの生活習慣の改善を図り、家族ぐるみの健康づくりを推進する。
3 東区地域連携協力に係る大学との健康づくりの推進 (再掲)	保健センター・大学	○東区内の大学における大学祭等で栄養・食生活改善を普及啓発する。
4 小学生料理教室 (再掲)	保健センター・小学校・公民館	○小学生の食事と地域への興味及び食事を通じた親子のふれあいを促すため、小学生とその保護者を対象に、郷土料理や地域の食材を用いた料理の実習を行う。
5 健康的な生活習慣づくり教室 (再掲)	保健センター、幼稚園	○幼稚園児とその保護者を対象に、バランスの良い食事や運動の大切さなどについて、普及啓発を図ることにより、生活習慣の改善を図る。
6 佐伯区地域連携協力に係る大学との健康づくりの推進 (再掲)	保健センター・大学	○佐伯区内の大学における大学祭等で栄養・食生活改善を普及啓発する。
7 食育講座	行政	○18歳～35歳を対象に季節の旬な食材で栄養バランスに配慮した調理方法を学び、年齢、性別等に応じた、適切な食事の内容や量について理解を図る。
8 「わ食の日(和食・輪食・環食)」の啓発 (再掲)	食育推進会議事務局	○毎月19日(食育の日)の「わ食の日」の啓発とともに、本市が独自に推進する3つの「わ食(和食・輪食・環食)」の実践に繋がる様々な取組を実施する。 ○朝食内容の充実を図るため、ひろしま食育ネットワーク団体と連携し、和食朝食を進める取組を展開する。
9 「20代のための食育」啓発事業	食育推進会議事務局	○20歳代に対し、「望ましい食習慣の形成・食に関する自己管理能力の育成」を図るため、趣旨に賛同する大学や企業等と連携し、大学生を中心とした新しい発想や企画力を生かした啓発活動として食育プロジェクトを推進する。
10 ひろしま食育ネットワーク連携事業 (再掲)	食育推進会議事務局	○ひろしま食育ネットワーク参加団体が、互いの連携を強化し、食育に関する取組をより効果的・効率的に実施するための取組を行う。 ○県や広島広域都市圏内市町との情報を共有し、各種啓発活動を積極的に推進する。

7 食を通じてみんなで育てよう ひろしまっ子事業【30件】		
食育推進プログラム	実施主体	主な内容
1 図書の展示、おはなし会の開催	行政	○食に関する図書・絵本を展示する。 ○学校への調べ学習・読書支援のために「食育」をテーマにした図書を数十冊セットにして学校への貸出を行う。
2 家庭教育学級の開催	行政	○保護者と子の料理教室を実施する。 ○エコがテーマの調理体験の機会を提供する。 ○正しい食事の取り方、食事などを学習する調理体験を実施する。
3 民生委員・児童委員による相談・支援活動	民生委員・児童委員	○市が実施する「こんにちは赤ちゃん事業」に協力し、訪問時に保護者等の求めがあった際、食育に関する助言を行う。
4 民生委員・児童委員によるオープンスペース等での相談・支援活動	民生委員・児童委員	○子育てサロンの開催のなかで、保護者等の求めがあった際に食育に関する助言などを行う。
5 小学校における上手な手洗い授業の実施	保健所	○児童に手洗いの習慣を定着させるとともに、食品衛生に関する認識を深めるために、教育委員会を通じて、市内の小学校に申込みを募り、小学1年生を対象として「上手な手洗い授業(45分間)」を実施し、児童に手洗いの必要性を視覚的に理解させた上で、正しい手洗いのやり方を講習する。
6 夏休み親子体験教室「お肉について考えよう」 (再掲)	行政	○お肉についての講義 ○食肉市場せり見見学 ○DVD上映「ブタさん、いのちをありがとう」 ○体験実習(動物の血液や内臓の観察、手洗い実験など)
7 保健センターによる子どもの食に関する情報提供、普及啓発 (再掲)	保健センター	○各保健センターにおいて、乳幼児健診を活用して、食に関する情報提供(パンフレット・待ち合い場所でのパネル展示)や個別相談を行う。 ○区の健康まつり等のイベント時に、栄養相談やパネル展示などを行う。
8 保健センター等で行う食育教室・食生活相談の実施	保健センター	○各保健センターで母子関係の個別相談及び集団指導を行う(乳幼児健診、各種食育教室)。 ○すこやか食生活推進リーダーや食生活改善推進員を活用して、幼稚園等で食に関する講演等を行う。

9	安全でおいしい保育園給食の充実 (再掲)	保育園	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保育園給食の献立作成にあたっては、季節感や地域性を考慮し、品質がよく、幅広い種類の食材を取り入れる。</li> <li>○19日(食育の日)の給食を「ごはん・魚料理・汁物」の献立にし、「食育の日」と「日本型食生活」について意識づけを図る。</li> <li>○おやつにいきこを提供し、「かむこと」の意識づけを図る。</li> <li>○広島県内産の野菜・魚などを可能な範囲で取り入れ、保育園に食の情報を提供する。</li> <li>○除去食対応を中心に、食物アレルギー対応を行う。</li> <li>○保育園の給食食器等は、子どもの発達や安全性をふまえ、各保育園の実情にあったものを使用する。(強化磁器や合成樹脂製食器)</li> </ul>
10	保育園における食の家庭支援	保育園	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各保育園において、生活リズムの定着を図るため、生活リズムカレンダーに取り組む。</li> <li>○6月の食育月間に、朝食に関する保護者への情報提供や朝食調査を行う。</li> <li>○保育参観時に、給食参観や給食試食、食についての紙芝居や講演や、必要に応じて個人懇談を行う。</li> <li>○園児に対し、3色分けした栄養ボードを使って、給食食材のグループ分けをし情報を提供する。</li> <li>○保護者に対し、給食日より給食展示、献立表の展示により、給食についての情報を提供する。</li> </ul>
11	「食育通信～保育園から食のメッセージ～」の配信 (再掲)	保育園	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保育指導課が提供した食育通信を参考に、各保育園で給食だよりを作成し、家庭に配布する。(保育園給食、園で実施した食育の内容と子どもの反応等)</li> </ul>
12	保育園における栽培体験 (再掲)	保育園	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各保育園において、食育年間計画を作成し、野菜等の栽培から収穫、調理、喫食までの一連の体験を3歳以上児を中心に実施する。(夏野菜の苗植え、水やり、草むしり、収穫等)</li> </ul>
13	保育園における食体験の充実 (再掲)	保育園	<ul style="list-style-type: none"> <li>○給食に興味を持って自分で食べようとする気持ちを育てるため、給食の食材等を見たり、触れたりする体験や皮むき、すじとり等を行う。</li> <li>○おやつクラッカーにジャムをぬったり、カレーの盛り付けを自分で行う。</li> <li>○各年齢別に年間指導計画をたて、年齢に合わせて給食時間に食事マナーを教える。</li> </ul>
14	保育園における食文化体験 (再掲)	保育園	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の人のもちつき、地域でとれたもので切干大根や干し柿を作ったり、一緒に食事をするを通して地域の食文化にふれる取組を行う。</li> </ul>
15	海辺の教室事業 (再掲)	行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>○水産業に対する理解を深め、魚と漁業に関する知識の普及啓発を図るため、小学校3～6年生とその保護者を対象に、水生生物の観察やカキ養殖などについて学習する「海辺の教室」を毎月1回(11月を除く。)開催する。</li> </ul>
16	海と漁業の体験スクール (再掲)	行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>○水産業に対する理解を深め、魚と漁業に関する知識の普及啓発を図るため、市内の小中学生を対象とした種苗の放流体験や市内の小中学校・子供会等の団体を対象とした干潟の生物観察、カキ打ち体験などを実施する。</li> </ul>
17	小学生料理教室 (再掲)	保健センター・小学校・公民館	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小学生の食事と地域への興味及び食事を通じた親子のふれあいを促すため、小学生とその保護者を対象に、郷土料理や地域の食材を用いた料理の実習を行う。</li> </ul>
18	健康的な生活習慣づくり教室 (再掲)	保健センター、幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> <li>○幼稚園児とその保護者を対象に、バランスの良い食事や運動の大切さなどについて、普及啓発を図ることにより、生活習慣の改善を図る。</li> </ul>
19	食に関する指導の学校体制づくり	学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各学校で食に関する指導の全体計画・年間計画を作成する。</li> <li>○学校における食育の推進上の課題を解決するため、食育推進担当者等を対象とする研修の実施と充実を図る。</li> <li>○食に関する指導の教材や資料の共有化を図る。</li> </ul>
20	栄養教諭を中核とした学校における食育の充実	学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校における食育を充実させるため、栄養教諭を中心に食に関する指導内容等を研究し、全市の学校に広める。</li> <li>○家庭・地域との連携を図り、体験活動等による食育の実践方策を研究し全市の学校に広める。</li> <li>○栄養教諭等の資質向上のため、研修を実施する。</li> </ul>
21	「生きた教材」である学校給食と給食指導の充実 (再掲)	学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「食育の日(わ食の日)」に和食の献立の給食を実施する。</li> <li>○栄養バランスや、食文化の伝承、国際理解、地場産物・旬の食材の活用を考慮した学校給食を実施する。</li> <li>○噛みごたえのある食材を使った献立を実施する。</li> <li>○給食指導資料を作成し、各校で活用する。</li> </ul>
22	ノー電子メディアデーの推進 (再掲)	行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各家庭において電子メディアとの関わり方について考え、改善を図るための契機とするため、市内の保育園・幼稚園に通う子どもがいる家族を対象に実施する。</li> </ul>
23	学校・家庭・地域が連携した食育の充実 (再掲)	学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>○家庭・地域と連携を図るため、食育だより・ホームページ等で情報提供を行う。</li> <li>○児童生徒の食生活状況(朝食等)を把握し、指導に活用する。</li> <li>○地域人材・関係機関等による食育授業を実施する。</li> </ul>
24	幼稚園における料理教室や行事食体験の開催 (再掲)	幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> <li>○幼稚園において調理体験や食に関わる行事等を実施する。</li> </ul>
25	幼稚園におけるお弁当の時間を活用した食べ方の指導 (再掲)	幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> <li>○お弁当の時間に、食前の手洗いや食事のあいさつ、箸の持ち方などについて指導する。</li> </ul>
26	「早寝早起き 元気なあいさつ 朝ごはん運動」の推進 (再掲)	学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>○家庭・地域との連携を推進し、幼児児童生徒の生活リズムの定着を図る。</li> <li>○基本的な生活習慣の定着に関するアンケートを実施する。</li> <li>○全校一斉生活リズムカレンダー実施週間を実施する。</li> <li>○基本的な生活習慣の定着に関するリーフレットを配布する。</li> </ul>
27	家庭教育手帳の周知	行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文部科学省のホームページで公開している、乳幼児から中学生の子どもを持つ保護者を対象とした「家庭教育手帳(朝食の重要性などを掲載)」を紹介する。</li> </ul>
28	農業委員による農業体験指導 (再掲)	行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>○幼稚園、保育園、小学校、区役所、民間等で、農業委員が、芋ほりや野菜、麦、稲作栽培などの農業体験学習を支援する。</li> </ul>
29	「わ食の日(和食・輪食・環食)」の啓発 (再掲)	食育推進会議事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>○毎月19日(食育の日)の「わ食の日」の啓発とともに、本市が独自に推進する3つの「わ食(和食・輪食・環食)」の実践に繋がる様々な取組を実施する。</li> <li>○朝食内容の充実を図るため、ひろしま食育ネットワーク団体と連携し、和食朝食を進める取組を展開する。</li> </ul>
30	ひろしま食育ネットワーク連携事業 (再掲)	食育推進会議事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ひろしま食育ネットワーク参加団体が、互いの連携を強化し、食育に関する取組をより効果的・効率的に実施するための取組を行う。</li> <li>○県や広島広域都市圏内市町との情報を共有し、各種啓発活動を積極的に推進する。</li> </ul>

● 官民一体となった効果的な食育の推進に向けた重点プログラム

8 ひろしま食育ネットワーク連携事業【5件】		
食育推進プログラム	実施主体	主な内容
1 高齢者のふれあい食生活支援事業 (再掲)	行政、大学、地域団体、食品関連事業者等	○食生活の自立支援(料理教室の開催、メニュー集の普及)、おいしく食べる環境づくり(調理などを通じて交流を行う場づくり等)に関する取り組みを高齢者の食に関わる関係者が協働して実施する。
2 学校・家庭・地域が連携した食育の充実 (再掲)	学校	○家庭・地域と連携を図るため、食育だより・ホームページ等で情報提供を行う。 ○児童生徒の食生活状況(朝食等)を把握し、指導に活用する。 ○地域人材・関係機関等による食育授業を実施する。
3 「わ食の日(和食・輪食・環食)」の啓発 (再掲)	食育推進会議事務局	○毎月19日(食育の日)の「わ食の日」の啓発とともに、本市が独自に推進する3つの「わ食(和食・輪食・環食)」の実践に繋がる様々な取組を実施する。 ○朝食内容の充実を図るため、ひろしま食育ネットワーク団体と連携し、和食朝食を進める取組を展開する。
4 「20代のための食育」啓発事業 (再掲)	食育推進会議事務局	○20歳代に対し、「望ましい食習慣の形成・食に関する自己管理能力の育成」を図るため、趣旨に賛同する大学や企業等と連携し、大学生を中心とした新しい発想や企画力を生かした啓発活動として食育プロジェクトを推進する。
5 ひろしま食育ネットワーク連携事業 (再掲)	食育推進会議事務局	○ひろしま食育ネットワーク参加団体が、互いの連携を強化し、食育に関する取組をより効果的・効率的に実施するための取組を行う。 ○県や広島広域都市圏内市町との情報を共有し、各種啓発活動を積極的に推進する。